

喜神 乙木
日主 丁火
忌神 癸水

天機識

万柴難抵一陣雨
(万柴抵あらがい難し 一陣の雨)

丁火を乙木が生じており、さらに、癸水が尅しています。これらの生尅を比べますと、木生火と水尅火とは、両方とも作用が強いのですが、水尅火のほうがより強いのです。

したがって、この殺の尅害に対して、印の生はなかなか追いつかず、救いがたい災害にであったり、引っこみ思案で萎縮した人生になったりして、男女別になんらかの対策が必要です。

一 春 惆 悵 残 三 日 一 春 の 惆 悵 三 日 を 残 し

醉 問 周 郎 憶 得 無 醉 いて 周 郎 に 問 う 憶 え 得 る や な き や と

乾 造 柳 絮 送 人 鶯 勧 酒 柳 絮 人 を 送 り 鶯 は 酒 を 勧 む

去 年 今 日 到 東 都 去 年 の 今 日 東 都 に 到 る

格好をつける

というのがあります。そういうことがないよう、ごく自然体で行けと教えているのです。

例：某男性

正印 甲子
正印 甲戌 月令
丁未 辛金
傷官 戊申

「強弱」木・強 火・強 土・強 金・弱 水・弱
「格局」財帛格 「喜神」土・金
命式の五行が平均しており、身旺の内格になります。命式のなかで「洩天機」にとって必要な要素である、

主喜は時干の戊土
日主は日干の丁火
主忌は月干の甲木
というようになるので、識は「有炉徒然薪太多」です。
戊土は、弱めたい日主の丁火を洩して弱めるゆえに有炉です。甲木は、弱めたい日主の丁火を生じて

〈語釈〉

○ 呐呐—どもりがちで口下手。 ○ 純青—一番よく燃えている火がかえって青くなる状態をいう。 ○ 明見性—悟りを開くこと。 ○ 逍遙自在—自由に気ままな状態。

〈解説〉

どもりがちで口下手のように見えてその実、まことの知恵もっています。ひたすらに旧いものを温めてこそ、新しいものを知ることができます。純粹の極致にいたってこそ、悟れるものです。

もともと気ままで自由の身の上ですから、何もいちいち肩を張って突っぱることはありません。——という詩意。

印が忌神の命式ですから、性格的な欠点として、多かれ少かれ、
甘ったれる
ずるい
肩を張る
独りよがり

ご注意

本書の前に、必ず『四柱推命活用秘儀』をお読みください。『四柱推命十干秘解・四柱推命術奥義』をご購読後に本書を読まれると、一層理解が深まります。

【四柱推命・参考書籍】『これで身につく四柱推命』『四柱推命術極秘伝』『四柱推命五大秘伝集』『四柱推命術密儀』『子平一得』『子平象意典故乾坤』『四柱推命の真理 天地人』その他多数有り